

平成 28 年 3 月の解説（府県天気予報）

【3 月の天候状況】

上旬は、日本付近を高気圧と低気圧が交互に通過し、全国的に天気は数日の周期で変わりました。南から暖かい空気が流れ込みやすかったため、気温は全国的に高く、東・西日本ではかなり高くなりました。北日本日本海側、東・西日本太平洋側、沖縄・奄美では、低気圧や前線の影響で旬降水量が多かった一方、東日本日本海側では、低気圧などの影響が小さく旬降水量はかなり少なくなりました。

中旬は、高気圧が大陸から日本付近に張り出した一方、日本の南海上を低気圧が数日の周期で通過しました。このため、高気圧に覆われることが多かった北日本では晴れた日が多くなりましたが、東・西日本太平洋側や沖縄・奄美では、低気圧や湿った気流の影響で雨の日が多くなりました。旬の前半は、大陸から高気圧が張り出したため、北からの寒気の影響を受けて、東日本から沖縄・奄美を中心に低温となりましたが、旬の後半は、寒気の影響を受けにくかったため、全国的に気温が高くなり、特に北・東日本では気温がかなり高くなりました。

下旬は、大陸から張り出す高気圧に覆われて晴れた日が多かったため、北・東・西日本では旬間日照時間がかなり多くなりました。また、低気圧の影響が小さかったため、全国的に旬降水量は少なくなりました。寒気の影響を受けた沖縄・奄美では気温がかなり低くなりました。

月平均気温は、東・西日本でかなり高く、北日本で高くなりました。若松（福島県）など 3 地点で月平均気温の高い方からの 1 位の値を更新し、3 地点で高い方からの 1 位タイの値を記録しました。月降水量は、沖縄・奄美で多くなった一方で、北日本太平洋側と東・西日本日本海側でかなり少なくなり、北日本日本海側で少なくなりました。月間日照時間は、北日本太平洋側と西日本日本海側ではかなり多くなりました。降雪の深さ月合計は、北日本でかなり少なくなりました。

【3 月の検証結果】

17 時発表の天気予報による「降水の有無」の全国平均の適中率は、明日予報は例年値（注）より 3 ポイント高い 86% で、明後日予報は例年値より 2 ポイント高い 82% でした。各地方の適中率では、明日予報については、北陸地方以外の全ての地方で例年値より高くなり、特に沖縄地方で 10 ポイント高くなりました。明後日予報でも、北陸地方以外の全ての地方で例年値より高くなり、特に沖縄地方で 10 ポイント高くなりました。

明日の最高気温の予報誤差は、全国平均で例年値より 0.2 小さい 1.5 となりました。全ての地方で例年値より小さくなり、特に北陸、近畿、中国、九州南部の各地方で 0.5～0.7 小さくなりました。最低気温の予報誤差は、全国平均で例年値より 0.2 小さい 1.3 となり、全ての地方で例年値より小さくなりました。

（注）例年値は気象庁 H P（予報精度検証）内「月毎の精度の例年値」を参照してください。

【5 月の天気予報の利用にあたって】

5 月は、高気圧に覆われて晴れる日が多くなりますが、一方で低気圧が発達しながら日本付近を通過して大荒れの天気となることもあります。

また、上空に寒気が流れ込むと大気の状態が不安定となり、穏やかな晴れの天気から一転して雷や突風、局地的な大雨となることもあります。屋外での活動を計画している場合は、天気予報とともに最新の気象情報や注意報、警報の発表状況にも留意し、天気の急変などに備えてください。